

人権の花開け とうや小に花の苗寄贈

6月3日室蘭人権擁護委員協議会(三浦敦子会長)が、とうや小学校を訪れ、ペゴニアなどの苗20株とプランター、肥料などをプレゼントしました。

花の世話をしながら、優しい気持ちをはぐくんでもらおうと同協議会が毎年行っている取り組みです。

三浦会長ら5人のメンバーが来校し目録を、岡本直児童会会長に贈り、同会長が「大切に全校児童で育てます」とお礼の言葉を述べました。



お礼の言葉を述べる岡本直児童会会長

洞爺湖町に多額の私財を寄付したことが高く評価され、3月28日に紺綬褒章の受章が決定した若狭洋市さん(わか



紺綬褒章を受ける若狭洋市さん(左)

さいも本舗会長)に対する受章伝達式が、6月9日役場で行われ、長崎良夫町長から賞状と褒章が授与されました。

若狭洋市さん 紺綬褒章受章

毎年の恒例になっている町内のボランティア団体「ななかまどの会(坂井千枝会長)による雑巾の寄贈が、6月8日洞爺中学校で行われました。

メンバー3人が同中を訪れ、生徒会役員の星川真名美さん(3年)富田奈々美さん(2年)に会員手づくりの雑巾100枚を手渡しました。同会長の星川さんは「この雑巾で学校をきれいにしていきたいと思います。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



生徒会役員に雑巾を寄贈するななかまどの会のメンバー

湖の豊かな自然に触れてもらおうと6月11日、洞爺湖漁業協同組合(篠原功組合長)が、洞爺湖温泉小学校の児童を招いてヒメマスとサクラマスの放流を行いました。

同小学校の近くの湖畔に1、2年生18人が集まり、約6カ月かけて3~5位に成長した稚魚5,000匹を、「大きくなってね」との願いを込めて湖に放しました。



稚魚を放流する児童ら

大きく育ってね

温泉小学校児童らヒメマス稚魚放流

和楽器サークル和三盆 老人施設で初演奏

和楽器サークル和三盆が、6月12日グループホーム「ななかまどの会(半田壽子施設長)を訪れ、お年寄りに和太鼓、笛、三味線などの和楽器によるアンサンブルを披露。

和三盆単独での演奏は、今回が初めてで、代表の角田弥生さんは「アンコールもでてよかった。今後も施設を回り、お年寄りを喜ばしたい」と笑顔で語りました。8月22日にはふれ合いセンターで青龍太鼓との共演が予定されています。



和楽器の音色に癒されるお年寄りら

まちのわだい

